



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和4年6月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2022-6 Vol. **34**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「みんなのチューリップ」

コロナ禍によって落ち込んだ世の中に明るい話題を届けたくて、職員でチューリップを植えました。看板は、入所している子ども達が協力して製作してくれました。今後も、明るい話題を提供できる心温まるスポットを作れば良いと思います。



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 令和4年度新規採用職員紹介…4～6
- タイムス特集…7
- 事業所 TOPICS…8～9
- 常務随想 リレーコラム…10
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…10

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	子ども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-好学舎 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島子どもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



佐賀整肢学園に 今思うこと

からつ医療福祉センター

副院長 松浦 愛二

整肢学園には2003年のこども発達医療センターから始まり、2007年よりからつ医療福祉センター・久里双水園（2017年初頭3ヶ月間は糸島こどもとおとなのクリニック）にお世話になっている。また、かんざき清流苑にも個人的にお世話になっている。私は1969年生まれで、アラサーからアラフィフまで整肢学園で過ごしているのだが、「吾 三十にして躓きまくり、四十にして惑いまくり、五十にして天命を知るかもしれない」という感じで来ている。天命の辻褄だけ今のところ合わせるつもりでいる。各施設で多々迷惑をおかけしたにも関わらず、今尚この組織に所属していただけるのは、上司を始め周囲の方々にかに恵まれていたかとおつくづく思う。

その私が2022年4月1日付けで副院長を拝命した。身に余る重責であり、自分で良いのかという思いもある。しかし、恩返しのできる機会を得たのだから、組織が良い方向に進む様やれる事をやるのが自分の責務と考え、引き受けさせて頂いた。

私は随分長い間「斯くあるべし」という幻影に迷わされていたが、50歳を過ぎ、漸くそんな思い込みも少なくなり、結果として大分人の話を聞けるようになったかもしれない。人の話を聞き、それが正しいとか、成る程と思えば自分の考えを変える事に全く抵抗がない。医療の現場で診察所見・データを見て、これが正しい方針だと判断しても、毎日看護・介護に携わっている人の、現場の別視点からの意見を参考にして好転したことを経験した。ある時は、毎日看ている人から何か違うと報告があり、発熱なく、大した所見も無く、自分にはぱっと見元気そうに診えても、酷い血液検査データであったことも経験した。診方が甘いと言われればそれまでだが、これらから、いかに自分の思い込みが本質を見誤る可能性を秘めているかを理解出来た。

また上司が良く「人から話を聞く時に、自分には自分の意見がない」と話してくださっていたのだが、私はこれを、思い込みがあると相手の本当に伝えたいことが見えなくなると解釈した。勤務期間も長くなったので、相談を受けることも増えたが、フラットに話を聞くことで、相手の思いや思考の背景が何となく以前より見えてきた様な気がする。ただ相談件数が増えて困ったのは、結論は当然その場で出さなければならず、まだまだ発展途上で、間違った答えを出している場合も多い。その時は後で修正するというスタンスを、柔軟性と言い訳にして取らせてもらっている。

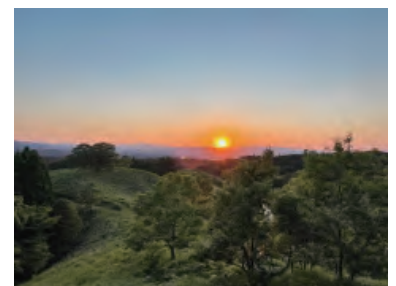
10年前のメモを読み返した時「君は感謝が足りない」と指摘されたと記載があった。どの事象がその指摘につながったのか記憶は定かでないが、相当酷かったのであろう。きっと何かをやらせてもらって、当たり前の態度をしていたのだから質が悪い。覚えているのは、それ以降「有り難う」を安売りする位唱える事を意識付けてみたことだ。不思議とそれが習慣になると、相手の思いやりが見えてくるようになった。また、相手の表情も見えるようになった。その言葉が良く聞こえる職場は良い雰囲気のように思える。好きな言葉になった。

以前の様にサッカーをしたりフルマラソンを走ったりするのが難しい体型になった。全てコロナのせいであるが、良いこともあった。流行り物が嫌いな方ではないので、密を避けソロキャンプを始めてみた。これがはまった。ゴルフもしないので、老後の趣味を心配していたが、どうもこれは飽きそうにない。今でも家族と行ってはいたのだが、泊まるのはバンガローだし、楽しいけど少し手間のかかる行事くらいに思っていた。理由は焚き火という最も重要なパーツを外していたからだった。キャンプに行く動機は、外で食べるのが美味しいとか、綺麗な景色を見たいとかもあると思うが、私の場合は頭を空っぽに出来る焚き火の時間を作るのがメインだ。何も考えずに焚き火をしていて、もう寝る時間になっていたということがしょっちゅうである。ソロで楽しいですかと時々聞かれるが、最近少し寂しくもあるので、ソログルキャンを開始した。良いサイトをご存知なら教えて頂き、ついでに誘ってもらえれば嬉しい。

以上この組織で働かせてもらい、学ばせてもらった結果としてある現在の私について書かせて頂いた。全くまとまりのない文章になったが、結論は、佐賀整肢学園という組織の一員であるのは、自分にとって本当に有り難く、感謝しかないということである。



TAKIBI@蔵迫温泉さくら



阿蘇外輪山の夕陽 @ 蔵迫温泉さくら

昇格 人事

令和3年4月1日から令和4年4月1日までの、法人内の主な昇格人事についてお知らせいたします。



法人事務局

森 英明

法人事務局長
令和3年4月



こども発達医療センター

原 勝章

総括部長
令和4年1月



こども発達医療センター

石井 茂吉

事務部副部長
令和4年1月



オークス

岩瀬 静奈

副施設長
令和4年4月



からつ医療福祉センター

久保 和泰

院長
令和3年10月



からつ医療福祉センター

松浦 愛二

上席副院長
令和4年4月



からつ医療福祉センター

岩瀬 裕幸

副センター長
令和3年4月



からつ医療福祉センター

笠野 健二

施設長
令和3年4月



かんざき日の隈寮

大島 毅

施設長
令和3年4月



かんざき清流苑
かんざき日の隈寮

谷口 貴志

事務長
令和3年4月



かんざき日の隈寮

真崎小百合

副施設長
令和4年4月



佐賀向陽園

大島 和美

事務長
令和3年7月

法人施設長等一覧

●法人事務局

常務理事 寺崎 敏光
局長 森 英明
副局長 原 勝章

●こども発達医療センター

院長 窪田 秀明
副院長 石井 清久
高杉紳一郎
和田 晃房
事務長 石井 茂吉

●オークス

施設長 中島 重信
副施設長 岩瀬 静奈
事務長 森 英明

●かんざき清流苑

●在宅サポートセンターかんざき清流苑

施設長 江口 泰子
副施設長 鶴池 恭子
城島 悦美
事務長 谷口 貴志

●からつ医療福祉センター

センター長 原 寛道
副センター長 岩瀬 裕幸
院長 久保 和泰
副院長 松浦 愛二
渡邊ひさ子
久里双水園施設長
笠野 健二

●好学会

施設長 川口 知行

●かんざき日の隈寮

施設長 大島 毅
副施設長 真崎小百合
事務長 谷口 貴志

●佐賀向陽園

●居宅介護支援センターわいわい

施設長 古川 政弘
事務長 大島 和美

●糸島こどもとおとなのクリニック

施設長 藤井 敏男

新任 紹介

こども発達医療センターに1名の医師を新たに迎えました。

令和4年4月より赴任

●こども発達医療センター 整形外科



すぎた けん
杉田 健 医師

鹿児島大学医学部卒業
北九州市立総合療育センターより赴任
日本整形外科学会 専門医

●所属学会等

日本整形外科学会
西日本整形・災害外科学会
日本小児整形外科学会
日本骨折治療学会
日本リハビリテーション医学会
日本小児股関節研究会
日本脳性麻痺の外科研修会
日本手外科学会



新採職員紹介

今春は44名の新規採用職員を新たに迎えることができましたが、全員参加の辞令交付式はコロナ対策上開催できず、各施設の代表1名に、令和4年4月1日に中尾清一郎理事長より辞令が交付されました。また、新規採用職員を代表して、こども発達医療センター配属の久間堯将さんが誓いの言葉を述べました。新たな仲間を加え、法人全体で、職員は約980名になりました。(4月1日現在)

誓いの言葉

私たちは、時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組みます。
 私たちは、利用者とその家族の思いをわが思いとして、利用者の明るく、充実した暮らしの実現に努めます。
 私たちは、医療・福祉の専門家としての誇りと熱意を持って、常に自己研鑽に努め、利用者の処遇向上を図ります。
 私たちは、地域の医療福祉の拠点施設として、その機能と役割を十分に発揮できるよう、地域社会との連携と交流促進に努めます。

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 
こども発達医療センター
久間 堯将
生活支援員
第2療育課 | 
こども発達医療センター
横尾 宇宙
生活支援員
西棟療育課 | 
こども発達医療センター
北田菜都子
生活支援員
西棟療育課 | 
こども発達医療センター
山田 遥香
保育士
在宅支援課 |
| 
こども発達医療センター
梅田 裕子
保育士
第1療育課 | 
こども発達医療センター
岸川奈津希
保育士
第2療育課 | 
こども発達医療センター
秦 綾音
看護師
第1療育課 | 
こども発達医療センター
吉富 順子
看護師
第2療育課 |
| 
こども発達医療センター
西 彩華
看護師
第1療育課 | 
こども発達医療センター
鐘ヶ江愛貴
看護師
第3療育課 | 
こども発達医療センター
淵上 舞風
准看護師
第2療育課 | 
こども発達医療センター
永淵 舞
看護師
第2療育課 |
| 
こども発達医療センター
内田 敦美
准看護師
西棟療育課 | 
こども発達医療センター
西川 玲花
看護師
第3療育課 | 
こども発達医療センター
外村 みか
看護師
外来看護課 | 
こども発達医療センター
松本 貴大
准看護師
西棟療育課 |

こども発達医療センター
岸川 大樹
理学療法士
理学療法科

こども発達医療センター
藤川 雛子
理学療法士
理学療法科

こども発達医療センター
安藤 楓夏
理学療法士
理学療法科

こども発達医療センター
野田 千紬
作業療法士
作業療法科

こども発達医療センター
土肥 朱里
言語聴覚士
言語療法科

こども発達医療センター
真子いずみ
言語聴覚士
言語療法科

こども発達医療センター
中川 晴菜
心理療法士
心理療法科

オークス
山口 智子
看護師
入所サービス課

オークス
竹下 典克
生活支援員
入所サービス課

オークス
高崎 愛詞
生活支援員
入所サービス課

オークス
福田 耕也
生活支援員
入所サービス課

オークス
百武 和哉
生活支援員
在宅サービス課

オークス
西元暢一郎
生活支援員
在宅サービス課

オークス
杉谷麻那美
生活支援員
入所サービス課

オークス
都留 千尋
保育士
在宅サービス課

かんざき清流苑
石丸 菜月
介護福祉士
入所サービス課

からつ医療福祉センター
山下 祐果
看護師
看護生活課

からつ医療福祉センター
吉村三恵美
准看護師
看護生活課

からつ医療福祉センター
チーレウー
生活支援員
入所サービス課

からつ医療福祉センター
在宅事業部
山口 沙樹
保育士
児発事業課

からつ医療福祉センター
在宅事業部
江口 幸雄
アシスタント
児発センター課

からつ医療福祉センター
好学会
青木 詩織
児童指導員
女子棟課

からつ医療福祉センター
好学会
福島 涉
心理士
男子棟課

からつ医療福祉センター
好学会
鷹尾 優輝
児童指導員
男子棟課

からつ医療福祉センター
好学会
草場菜々美
児童指導員
女子棟課

糸島こどもとおとなのクリニック
田中 望
児童指導員
在宅福祉課

かんざき日の隈寮
永田 悠宇
生活支援員
入所サービス課

居宅介護支援センター
わいわい
高塚亜希子
介護職員
在宅サービス課



上段左から 森法人事務局長 寺崎常務理事 中尾理事長 原副理事長 窪田常務理事
下段 新規採用職員各施設代表者（辞令交付式会場 多目的研修施設）

新採職員からのひとこと

こども発達医療センター 生活支援員 久間 堯将

こども発達医療センターで臨時職員として勤務させていただき、今年度より正規職員として採用となりました。臨時職員と正規職員との責任の違いを感じており、また新たな気持ちで勤務させていただく所存です。

日頃より病棟にて生活支援させていただく中で、「利用者本位」について考えることが多々あります。行う支援が適切か、利用者はどう感じているのかなど悩むこともあります。そのような時は先輩方や同僚に支えられ、利用者との支援について学ばせていただいています。

技術・知識・経験とまだまだ未熟ですが、今後とも「利用者本位」の支援が出来るよう努めたいと思います。

かんざき清流苑 介護福祉士 石丸 菜月

今年度より、かんざき清流苑に正規職員として採用となり、数ヶ月が過ぎました。正規職員となり、責任の重さが異なるため、新たな気持ちで前進していこうと思っています。

淡々と業務をこなすのではなく、利用者の方とのコミュニケーションを大切にしながら、一日一日を大切に過ごし、スキルアップを図っていきたいと思います。

今後とも、利用者の方と信頼関係を築きながら、より良い支援が提供できるよう努力を怠らず、励んでいこうと思いますので、何卒よろしくお願い致します。

からつ医療福祉センター好学舎 心理士 福島 渉

今年度より、からつ医療福祉センター好学舎で心理士として働かせていただいております、福島渉と申します。

現場に入ってから早数ヶ月、先輩方の支えもあって少しずつ業務内容が分かるようになりました。子ども達との関わりの中で、戸惑うことや悩むことが多い日々ですが、それ以上に学ぶことも多くやりがいを感じる仕事です。

これからは子ども達と信頼関係をしっかりと築くことを念頭に、指導員としての療育的立場を持ちつつ心理士ならではの視点からアセスメントしていけるよう励んでいきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

かんざき日の隈寮 生活支援員 永田 悠宇

今年度より、社会福祉士の資格を得て生活支援員として働かせていただくことになりました。中学2年で志した福祉の職場、それも大学時代に実習でお世話になったかんざき日の隈寮に就職できたことが本当に嬉しく、そしてこれはゴールではなく新たな人生の始まりだと思っています。先輩方や利用者の方からこの場所で働いていく上で大切なことを教えていただき、少しずつではありますが考え方や意識の変化、成長を実感する日々はとても充実しています。まだまだ身に付けるべきことや学ぶべきことは沢山あり、一つ一つ確実に自分のものとしていつか胸を張って自分は生活支援員だと言えるよう、これからも努力を積み重ねていきます。

オークス 生活支援員 杉谷 麻那美

今年度から、佐賀整肢学園・オークスの生活支援員として働くことになりました。まだまだ利用者の方々に対する接し方や支援に自信が持てず、緊張したり、戸惑ったり、不安になることがあります。しかし、先輩方が一つ一つの声かけを大事にされているのを学び、私も介助場面に合わせた細やかな声かけを行うよう気をつけ、笑顔を絶やさないように心がけて支援にあたるようにしています。

これからも経験を積み、利用者の方に寄り添った支援ができるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

からつ医療福祉センター 看護師 山下 祐果

今年度より、からつ医療福祉センターアルトンで看護師として働かせていただくことになりました。働き始めて利用者の方それぞれの個性があり介助方法に戸惑うことも多くあります。利用者の方への個性のある関わり方など、先輩方からご指導いただき業務に励むことができています。

職場の明るい雰囲気にも支えられ、やりがいを感じる日々を送っています。利用者の方や御家族に寄り添った看護を行えるよう努めていきたいと思っています。

今後ともご指導宜しくお願い致します。

糸島こどもとおとなのクリニック 児童指導員 田中 望

今年度、児童指導員の職を頂きました、田中望です。前職は、小学校の教員でした。

本職に就いて実感したことは、ひとり一人のお子さんへの、保護者様の当院にかけられる期待の大きさには、経験したことのない重さがあり、戸惑いを感じる程です。

現在遅々とした歩みですが、先輩の職員の方皆さん方に優しくご指導いただきながら、仕事を覚えつつあります。

今後とも当院の戦力として、もっと自分の役割を果たして働けるように、持ち前の明るさと粘り強さで、頑張ります。

今後とも、ご指導宜しくお願い致します。

居宅介護支援センターわいわい 介護職員 高塚 亜希子

今年度より居宅介護支援センターわいわいで正規職員として採用となり働かせていただいております。介護経験はなく、半年間臨時職員として職場の先輩方から業務を習いながら毎日を過ごしていました。業務を学び、利用者の方一人一人の対応やケアを学び、利用者の方の皆さんの笑顔と優しさに、未熟ながらもやりがいを感じております。

これから様々な事で悩み、つまづく事もあると思いますが、利用者の方の皆さんとの毎日の大切な時間を笑顔で過ごさせていただき、声に耳をかたむけられる職員になれるようにいたします。

タイムス特集

令和3年度の「学園タイムス」は、Vol.30～33を発売しました。職員から応募があった表紙写真を振り返ります。

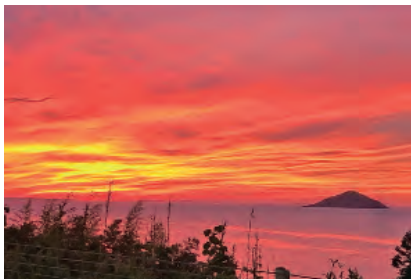
平成27年度から始めた表紙写真の公募も、令和3年度で7年目を迎えました。「佐賀・糸島で撮影した写真」を条件として、自由なテーマでの募集したところ、四季折々の表情を楽しむことが出来る、魅力的な写真をたくさん応募いただきました。応募していただいた皆さんありがとう

ございました。写真が採用された職員には後日記念品を贈呈致しますので楽しみにお待ちください。

今年度も引き続き表紙写真を職員より募集します。採用された方には記念品を贈呈させていただきます。詳細は下記の募集要項をご確認下さい。



令和3年度 その他の応募写真



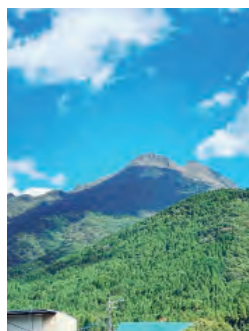
糸島の海



天建寺橋



大興善寺



由布岳

令和4年度 表紙募集について

今年度も表紙写真を大募集します！今年度もテーマはありません。たくさんの方に気軽に応募していただけたら、という思いから、このようなかたちをとっています。

条件は「佐賀・糸島でとった写真であること」。風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事など、佐賀や糸島の魅力が伝わってくる写真を募集します。締切もありませんので、いつでも、何でもお気軽にご応募ください。もちろんスマートフォンで撮った写真もOKです。たくさんのご応募、お待ちしております。



上記QRコードからメールで簡単に応募できます！

ご感想やお問い合わせや写真の応募、また特集内容のご要望や学園 FOCUS の自薦他薦は、各事業所の編集委員までどうぞ。

編集委員一同

- 法人事務局
- こども発達医療センター
- オークス
- かんざき清流苑
- からつ医療福祉センター
- かんざき日の隈寮
- 佐賀向陽園・わいわい

- 遠田 佐衣
- 井上 葉
- 横尾 由希
- 竹下亜由美
- 田中 邦典
- 木戸 美恵
- 宮本 稔也
- 山口 未佳
- 北島 照政



グループホームあったかでは、元々、男子棟に1床、女子棟に1床の短期入所を設けていました。しかし、昨年度頃より利用希望者の増加、特に女性が多くなった為、令和4年度より女子棟に1部屋追加して短期入所の定員を2床から3床へ増床しました。

デイサービスと併せて利用して生活を組み立てている方がおられる一方、新規の希望者や家庭の都合により急な予約が入る事もあります。また、特別支援学校の生徒さんも週末や長期休みに利用が重なる事が増えてきました。今まではお互いに調整ができる範囲で譲り合っていました。中には利用をお断りせざるを得ないケースもありました。

利用を希望して下さる方々は、通い慣れているから、知的や精神疾患をお持ちの方は個室での落ち着いた雰囲気や安心出来るから、といった理由で来てくださっています。受入れの絶対数を増やす事で、これからも少人数の利点を活かして本人様の特性に合わせた支援を行っていきたくと考えています。
(在宅サービス課 主任 佐藤 信仁)



ひなまつり会

3月

からつ医療福祉センター

アルトンでは3月1日にひな祭りの行事を行いました。

ひな壇横に飾られた桃の花や橘を見て、春の訪れを感じていただきながら、ひな祭りの由来を話して、皆でひなまつりの歌を歌いました。マイクを向けられた利用者の方は、意欲的に大きい声で歌われ、職員に褒められて嬉しそうな表情でした。

次にひな祭りに関するクイズを三択で出題。例えば、「1ひな祭りに良く飲まれる飲み物は？」①日本酒 ②甘酒 ③ビール 「2お内裏様やお雛様の下の段にいらっしゃる三人の女性の呼び名は？」①三つ子さん ②出しゃばり娘 ③三人官女 等の易しい問題に笑い声も聞かれ、積極的に答えられていました。



その後のお茶会では、抹茶や甘酒、雛あられも振る舞われ、和やかな雰囲気の中、会は進み、最後に、職員手作りのひな壇やさげものの飾りの前で写真撮影を行いました。

終始、笑顔もたくさん見られ、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。今後も行事を通し、日本古来の伝統文化に触れ、楽しんで参加していただけるような活動を計画していきたくと思います。

(看護生活課 生活支援員 丸井 節子)



防災の日

3月

佐賀向陽園・わいわい



3.11 黙祷

前号 vol33 Report でもご紹介させていただいた、非常用自家発電機を実際に稼働し、3月11日に「防災の日」を行いました。全国石油商業組合連合会様を始め各企業様(佐電工様・ニシハツ様・九州電気保安協会様)の御協力・立ち合いのもと、実際に計画停電を行い、ライフライン(電気・水道)の確認を全職員で行いました。

非常用自家発電機に切り替えた際、職員より「今、本当に停電してるんですか?電気が使える事はありがたいですね。」と驚きの声と感謝の声を多く聞く事ができました。

防災計画上は、ライフラインである電気供給は最低73時間(3日間)でしたが、最大7日間ほど供給できる事も分かりました。

施設火災の際に必要な消防設備(消火栓ポンプ)等の使用有無を実際に確認する事と、電気に関しては使用できる箇所と使用できない箇所を把握する事ができ、緊急時は地域住民の受け入れ等も今後さらなる検討が必要です。

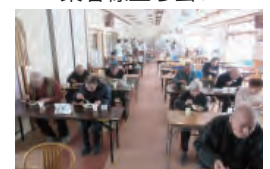
利用者の方の食事に関しては、非常食のアルファ米を使用したカレーの提供を行いました。普段提供されている食事との違いもあり、「いつもと違うけど、ご飯ば食べられる事はよかことねー」と感謝の言葉も聞かれました。

自然災害がいつでもどこで起きてもおかしくない状況であり、危機管理が問われる昨今、福祉(高齢者)施設である当施設としては、今回の訓練を通じ、利用者の方はもちろんですが、近隣地域の方の緊急避難先としても役立てることが期待されます。

これを機に、職員一同、利用者の方の安心した生活維持と併せて、地域貢献にもより一層力を注いでいきたくと思います。
(佐賀向陽園・居宅介護支援センターわいわい 主任 宮本 稔也)



業者様立ち会い



非常食の提供

事業所 TOPICS

(2月～4月)

年度末食事会

3月

かんざき日の隈寮



3月24日に利用者の方で運営されている自治会主催の食事会を施設内で行いました。今回、オムライスやハンバーグの入った洋食弁当の配達をされている地元のお店より、ボリュームたっぷりの食事を用意しました。普段刻み食や粥食を食べている方には、オムライスをリゾットへ、バーニャカウダを野菜の煮込み料理へと変更の対応をしていただいたことで、皆同じような見た目とボリュームで食事を楽しむことができました。利用者の方からは、普段中々食べない洋食メニューに「美味しかったよ」との声が沢山聞かれました。

コロナ禍で外出や外食が制限される中、テイクアウトでの食事会を通して美味しいものを食べる時の利用者の皆さんの自然な笑顔に嬉しく思いました。今年も、皆で楽しめる行事や食事会が出来るよう、感染症対策を行いながら工夫を凝らした支援を行ってまいります。

(入所サービス課 主任 向野 亜里紗)



ひよこ教室卒園式

3月

こども発達医療センター



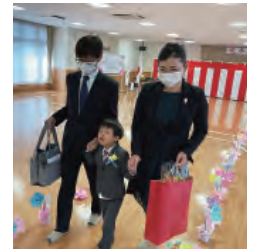
佐賀整肢学園こども発達医療センターひよこ教室の卒園式を3月25日に行い、6名の卒園児を送り出すことができました。

ひよこ教室は、障がいのある未就学の子どもが、ご家族と共に通園します。「初めて家族以外の人と過ごす場所」という子どもが多く、入園したばかりの子どもはもちろん、そのご家族も不安でいっぱい・・・という方が多いようです。

子ども達は、ひよこ教室で泣いたり笑ったりしながら、たくさんの初めてを経験して成長をみせてくれます。ご家族も、母子通園という親子の時間の中で、喜んだり、ときに悩んだりしながら、子どもと向き合い、しなやかにたくましくなっていく姿を私達は見届けます。

卒園式ではいつもと違う雰囲気、不安そうな緊張したような表情の子ども達も、式の終盤に、朝の会でたくさん歌った「ともだちになるために」になると、表情が一気に和らぎました。歌いながら手話をするのですが、少し難しい子どもには、手を添えてご家族が手話をしてくれました。そんな姿に、親子ともにひよこ教室へ通ってくれた月日を感じました。

「新しい環境になっても、ひよこ教室で過ごした日々があるので、大丈夫」そんな気持ちを持ちながら、子ども達の健やかなる成長をお祈りいたします。(在宅支援課 副主任 弥永 沙世子)



お花見会

4月

かんざき清流苑

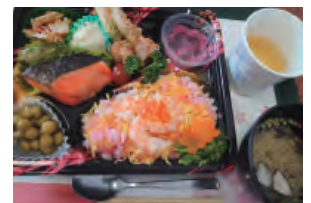


春らしい陽気な季節となり、今年も苑内の桜の花が満開になりました。気持ちの良い天気となった3月末、利用者の皆さんは満開の桜の下でお花見をされていました。皆さん、とても明るい表情で、大変喜ばれていました。

毎年、満開になるこの時期の昼食に、お花見弁当の提供を行っています。今年は、4月5日に、より一層春を楽しんでいただけるようにと、ちらし寿司や、筍、菜の花など春の食材を取り入れたお弁当を、皆さんに召し上がっていただきました。午後からは、和菓子や洋菓子を準備し、スイーツバイキングを行いました。皆さん、好みのお菓子を思い思いに選ばれ、楽しまれていました。

現在の感染状況では、まだまだご家族様をお招きしてのイベントはできない状況ですが、できる範囲で利用者の皆さんには美味しい食事を食べていただき、少しでも日々の生活を楽しんでいただきたいと思います。これからも、季節を感じられる食事、みんなが笑顔になる食事、食べる喜びを感じていただけるような食事を目指し、安全で安心な食事の提供ができるように、日々感謝の気持ちを忘れず、給食業務に取り組んでいきたいと思っております。

(総務課 主任 管理栄養士 前山 朋子)



常務随想

『職員提案制度に活況を』

当法人の職員にあまり知られていないし、関心も寄せられなかった制度に「佐賀整肢学園職員提案」という制度がある。平成16年10月に、この制度を運営するための規程が議決されているが、残念ながら、過去18年間にこの制度に基づく提案件数は3件という寂しい実態である。この制度の目的は、職員の創意工夫を發揮させ、業務上有益な提案を奨励することにより経営への参画意識を高めるとともに、職場風土の活性化を図ることを目的とすると謳っている。提案の種類としては、施設又は病院業務に関する工夫、考案、改善、企画など業務遂行上有益と考えられる、次のような提案が寄せられることを期待して制度が設けられている。

- ・作業の改善、能率向上、コストダウンに役立つもの
- ・環境改善、保安、安全、衛生管理に役立つもの
- ・サービス向上に役立つもの
- ・経費節約、省資源、業務省力化に役立つもの
- ・その他施設、病院にとって有益なもの

職員から提案が寄せられると、法人学園長を委員長とする提案審査委員会で審査し、採用と決定された提案については、理事長賞、学園長賞、施設長賞等の3区分により、表彰状と奨励金が授与されることになっている。これまで法人内職員に対して、本制度について周知・浸透が図られなかった点は反省しなければならないが、今後、本制度の利活用が促進されるような環境が整いつつある。それは医療福祉の現場に打ち寄せているDX(デジタル・トランスフォーメーション)の波である。国においても「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、社会保障の持続可能性の確保のため、医療・福祉サービスの改革による生産性の向上の取組を進める提言がなされた。そのため、ロボット・AI・ICT等の研究開発、実用化の推進が図られることが予想され、全国社会福祉法人経営者協議会にもICT戦略等特命チームが設置されて、利用者・職員のための業務改善・機器導入についての調査研究が進められている。

当法人においても、既にICT・IoTや介護ロボットの導入等の取り組みがみられるが、このような時代の潮流を的確にとらえて、ICT活用等による業務改革の取組に関する職員提案が、数多く寄せられることを期待したい。(常務理事 寺崎 敏光)

Relay Column

リレーコラム



からつ医療福祉センター
好学舎男子棟課支援係
児童指導員

いしい りょうすけ
石井 亮介

日本を守ってきたヒーローは多く存在します。中でも三大特撮と言われているウルトラマン、スーパー戦隊、仮面ライダーが代表的と言えるでしょう。自分はこの度その二つである仮面ライダーとスーパー戦隊の作品が楽しめる東映特撮ファンクラブ(以下TTFC)に入会しました。TTFCとは東映の仮面ライダーやスーパー戦隊などの特撮作品を中心に扱っている配信サービスです。

昨年時点で「仮面ライダー」の放送から50周年を迎えた仮面ライダーですが、その中でも注目すべきは仮面ライダーオーズです。その「完結編」と題し「仮面ライダーオーズ 復活のコアメダル」という作品が劇場及び各動画配信サイトで視聴できるようになりました。また、今夏にはTTFCにてオーズの2号ライダーである仮面ライダーバースのスピノフ作品の「仮面ライダーバースX 誕生秘話」の配信も予定されています。仮面ライダーに興味がない人も是非オーズ本編と上記2作品を視聴してみてください。仮面ライダーと侮ることなかれ、感動間違いなしの作品です。

私は子どもが好きなヒーローものが趣味なのですが、私が勤務している好学舎は児童が入所しており、会話をする際に趣味が生かされていると感じる場面が多々あります。今後も多くの児童と関わっていく際に、今の趣味だけでなく会話のひきだしを増やしていければと感じています。

NEXT...からつ医療福祉センターのあの人にバトンタッチ!!

令和4年2月～令和4年4月

協力ボランティア

【こども】 整肢学園友の会様 親和会様

【オークス】

【清流苑】

【からつ・好・糸】

【日の隈】

【向・わ】

施設見学会

【こども】

【オークス】 嬉野特別支援学校 1名様

【清流苑】

【からつ・好・糸】 糸)訪問看護ステーション Ohana 1名様 南風小学校 2名様

【日の隈】

【向・わ】

実習生受入

【こども】

【オークス】 西九州大学社会福祉学科 1名

【清流苑】

【からつ・好・糸】

【日の隈】 西九州大学社会福祉学科 4名

【向・わ】

見どころ

今回のタイムスの一番のみどころは、今年度新規採用職員の紹介です。春の訪れとともに新たな出会いと期待を感じ、新規採用職員の皆様の今後の活躍を心からお祈りしています。また、少しずつではありますがコロナと併存しながら世の中の経済が再活性化していく動きにあり、タイムスも微力ながら皆さんの将来の希望や心の平穏の手助けとなることを願っています。

